

テーマ型共創フロント 募集シート

■提案の募集内容について

募集テーマ	H I V / エイズ、性感染症検査等の普及啓発
提案の募集対象 (テーマに関連する 事業等の概要)	<p>【名称、概要、場所、その他データ等】</p> <p>(1)健康福祉局で作成した「検査啓発カード」を入れて窓口に設置するためのカードケースの提供（市薬剤師会会員の薬局に配付予定）</p> <p>※平成29年11月に市薬剤師会から会員の薬局あてに、「検査啓発カード」及びご提供いただくカードケース等を郵送で配付する予定で すぐ提供いただきたいカードケースの仕様> サイズ：名刺サイズの「検査啓発カード」が、20～30枚程度入るもの 素材：指定なし 必要数：1,000個 デザイン</p> <p>①市薬剤師会から会員の薬局宛に郵送で送付するため、組み立て式であること。 ②広告提出も可（「その他の留意点」をご覧ください）。</p> <p>(2)平成29年12月1日の世界エイズデーに合わせた普及啓発、臨時の血液検査の実施についてのアイデアや企画の募集</p> <p>※臨時の血液検査は、平成29年12月5日（火）、平成30年1月16日（火）に実施予定です。</p> <p>(3)H I V / エイズや性感染症の正しい知識の普及啓発についてのアイデアや企画の募集</p> <p>※対象者を絞った普及啓発など、民間ならではの視点でのアイデアや企画を募集します。性感染症については、特に梅毒が若い世代を中心に全国的に増加しています。同じく正しい知識の普及啓発が重要となります。</p>
提案を募集する 背景・課題	<p>エイズは、日本で初めて患者が発生した時に、報道等で病気の恐ろしさが強調されすぎたため、人権侵害が起きました。感染経路は限られており、また普段の生活ではうつらないことなど、正しい知識の普及は重要です。</p> <p>また、近年、全国的にH I V に感染していることに気づかず潜伏期間を経て、いきなりエイズを発症する人が増えています。H I V 感染者は、早期発見・早期治療により、今までと変わらない日常生活をおくることが可能です。ここ数年、検査件数が減少している状況があり、検査体制や広報について、検討していく必要があります。</p> <p>性感染症については、特に梅毒について、若い世代を中心に全国的に増加しているため、他の性感染症を含めた普及啓発が重要となります。</p> <p>※ H I V（ヒト免疫不全ウイルス） 感染すると徐々に病原菌に対する抵抗力（免疫力）が弱くなり、感染症にかかりやすくなります。指定された病気の症状がみられた時、エイズ発症と診断されます。</p>
募集対象 ※チェックのついたものが、今回の募集の対象です	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の提案及び連携事業者の募集 ⇒テーマに関する公民連携の提案・アイデア及び連携事業者の両者を募集するものです。</p> <p><input type="checkbox"/> 公民連携の提案のみの募集 ⇒横浜市が今後の事業等の方針や仕様を定めるために、テーマに関する公民連携の提案・アイデア等のみを募集するものであり、連携事業者を募集するものではありません。</p>
横浜市が希望する 提案について	<p>(1)「検査啓発カード」を入れて窓口に設置するためのカードケースの提供</p> <p>(2)臨時検査の受検者数を増やすためのアイデアや臨時の血液検査時に普及啓発用のグッズを提供するなどを想定しています。</p>

	(3) 民間ならではのアイデアを募集
想定する提案の例	(1) 検査の啓発・PR等に併せて空きスペースに広報等を掲載したカードケースの提供 (2) 臨時検査受検者への物品等（検査試薬の提供・ばんそうこうなど普及啓発グッズの配付）の提供 (3) -

■提案にあたっての条件

募集期間	(1) (2) 平成 29 年 8 月 9 日 (水) ~平成 29 年 8 月 31 日 (木) (3) 随時
実施予定時期	(1) (2) については、平成 29 年 10 月末 (3) 随時
提案の形式	様式 3 の【提案シート】をご提出ください。 ※提案シートの他、企画書や関連資料の添付も可です
提案の選定方法 ※チェックのある方法で選定します	<input type="checkbox"/> 特に選定をしません（提案内容が妥当であれば採用数を絞込まない） <input checked="" type="checkbox"/> 審査等による選定等を実施（提案内容等を審査・選定し採用数を絞込む） <input type="checkbox"/> 提案を参考に、あらためて実施事業者の公募等を実施 <input type="checkbox"/> その他（)
横浜市から提供できるメリット	ご提案者様のPR、イメージアップ、社会貢献の具体化 臨時の血液検査及び普及啓発の記事を、平成 29 年 12 月号（11 月発行）及び平成 30 年 4 月号（3 月発行）のフリーペーパー「ハマカラ（発行：ばど）」に掲載する予定です。その記事内に、「協力企業」として企業名を掲載します。
横浜市の予算措置の可能性	提案内容により予算措置を検討
その他の留意点	ご提供いただく物品に広告を掲載する場合、または、広告が掲載されている物品を配布する企画をご提案いただく場合等は、横浜市広告掲載基準を遵守してください。なお、広告内容に関しては、市による審査を行います。
提案のお申込み先・内容についての お問い合わせ先 （事業所管部署）	横浜市健康福祉局健康安全課結核・エイズ担当 TEL 045-671-2729 FAX 045-664-7296 E-mail kf-aids@city.yokohama.jp

縦 5.5 cm
横 9.0 cm

横浜 AIDS 市民活動センター
マスコット コムちゃん

感染しているかどうかは
**検査を受けなければ
わからないっ!**
まずは**検査**を受けてみよう。

HIV・エイズは、
予防できる病気です。

梅毒も急増中!

 裏面も見てね!


横浜市保健所
TEL 045-671-2729 FAX 045-664-7296



横浜 AIDS 市民活動センター
マスコット コムちゃん

横浜市の HIV & 梅毒検査・相談は **無料・匿名**。
プライバシーにも配慮しています。

— **平日** 検査 (電話で予約、結果は1週間後、同時に梅毒検査可)
— **火曜・夜間** 検査 (予約不要、結果は1週間後、同時に梅毒検査可)
— **土日・即日** 検査 (電話で予約、受付から結果まで約1時間)
※土日・即日検査会場では、梅毒検査は実施していません

★くわしくは横浜市ホームページをチェック!
 横浜市の検査・相談会場の案内は
こちら ⇒

